

## 短期大学養護教諭養成課程教育における医学系 テレビ放送番組導入効果に関する研究

松本 禎明・井野 和可奈

九州女子短期大学専攻科子ども健康学専攻 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1 (〒807-8586)

(2015年11月12日受付、2015年12月17日受理)

### 要 旨

近年、ICTによる技術革新には目を見張るものがある。ICTの活用は教育現場で進んでおり、大学教育でも積極的にその活用は進んでいると考えられる。短期大学教育保健学系の学科では、社会で健康教育者や健康アドバイザーを目指すことを想定しており、かなりの学習量を求められる。

そこで、短期大学養護教諭養成課程の教育保健学系の学習において教材の工夫（医療系番組の活用）によりどのような教育効果をもたらすのか評価を行うことを目的とし、実際に行われている基礎医学系の授業受講生に対して、異なる教授方法（書面、テレビ放送番組動画等を使用した教材提示）による効果について1年生と2年生の受講生に対する書面調査を行った。

その結果、医療系動画教材を利用しない授業については、2年生では肯定的評価が高く、教育保健学の学びの層が厚くなっていることが影響したものと考えられる。教科書選定やプリントの内容の工夫や説明の仕方次第である程度高い評価が得られることが分かった。

書面教材と動画教材組み合わせ導入効果については両学年ともかなり高い肯定的評価をしており、また健康教育や保健指導を実施する立場としても大多数が有益であると考えていた。動画教材を学習内容に合わせて工夫し教育利用することで学習効果が得られ、そして書面によるプリントや資料を配布し学生に参照させることでより一層の学習効果が得られるのではないかと考えられる。ただし、テレビの番組は有名司会者や芸能人の話術による分かりやすい話があるが、ゲスト専門家からは専門用語が飛び出し、細かく分かりやすい内容であっても洪水のように流れていく情報に追いついていけない懸念もある。このことから動画教材を適宜静止して解説を挿入するなど教員による工夫が必要である。医療系のテレビ番組で、沢山の医療情報があってもそれを正しく理解し、生活や学習に活用できなければただ面白い番組を見ただけということになりかねない。

以上のことから、健康教育や学習に動画教材を生かすには、教える側が積極的にメディア情報に関心を寄せ、学ぼうとする立場の人へ真の意味を伝えられるようにしていくことが重要であると考えられる。

## I. 緒言

昨今のICTによる技術革新には目を見張るものがある。文部科学省によると電子黒板の整備状況が平成27年3月1日の時点で9万573台であり前年度と比較して8045台増加、教育用コンピュータのうちタブレット型コンピュータ台数が15万6356台であり前年度と比較して2倍以上に増加しており初等中等教育におけるICT環境の整備が進んでいる<sup>1)</sup>。学習指導のICT活用による効果については、これまでの調査研究などから明らかになっており、平成18年度及び19年度に実施された文部科学省委託事業による調査研究において、全国で実施された752件の検証授業では、ICTを活用して授業を行った教員の98.0%が、「関心・意欲・態度」の観点において効果を認めている<sup>2)</sup>。このことから大学教育でも積極的にその手段の活用は進んでいると考えられる。社会においても広くネット環境の整備が進み、個人のもつ携帯型情報機器末端（タブレット、スマートフォン）で、いつでもどこでも様々な情報を得ることは容易になっている。しかしながら、これらの手段による情報入手は、アクセスオンデマンド方式が主流であり、新たな学びをスタートする場合、情報のあまりの多さに戸惑いスタートダッシュにつまずいてしまうこともある。

短期大学の教育保健学系の学科では、社会で健康教育者や健康アドバイザーを目指すことを想定している。細かく膨大な学習を求められる医療従事者を目指す医学教育と比較すれば、アウトライン的学習に留まるがそれでもかなりの学習量に及ぶ。また、教育保健学系の学科の学生の場合、高等学校での学習クラスが文科系で、理科系的学習内容に不得手な学生も少なくなく、図書館利用や多様なメディアを使用しているアクティブラーニング（積極的自主又はグループ学習）が軌道に乗るよう初期のパッシブラーニング（集合受講型座学）の工夫は極めて重要である。

また、厚生労働省によると特定保健用食品（いわゆる「特保」）の市場規模は10年間で倍増したほか、喫煙率は年々減少するなど健康に対する意識は近年高まっていると考えられている<sup>3)</sup>。近年の医療技術水準の発展や予防医学への関心からも、国民の健康志向は益々高まってきている。それを反映してかテレビ放送番組における医療系番組が多く放送されるようになってきておりこれらの学習への活用は大いに期待される。

そこで、短期大学教育保健学系の学科で実際に行われている基礎医学系の授業受講生に対して、異なる教授方法（書面、テレビ放送番組動画等を使用した教材提示）による効果について受講生に対する書面調査を行い、教育効果の評価を行うことにした。

## II. 調査方法

### I. 調査目的

この研究では、養護教諭養成課程（二種免許取得）における医療保健系の学習について受講生に対し調査を行い、教材の工夫によりどのような学習効果をもたらすのか評価を行う

ことを目的とする。

## 2. 調査内容

九州地区に位置する2年制女子短期大学(養護教諭養成課程)の1年生(62名)、2年生(59名)に対して、基礎医学系授業における放送番組(実際に放送された医療系バラエティー番組)を使用してその導入効果について受講学生に対する書面調査(表1)を実施し、その結果の評価を行った。回答は任意とし、集計や評価時は個人が特定されないようにした。調査は、1年生が2015年7月、2年生が2015年5月に実施した。なお、放送番組は、民放キー局の作成するいわゆるゴールデンタイムに放送されたものを対象とし、著作権に配慮して、編集など一切手を加えずに録画したものを使用し、今回の調査の目的を達成するための必要最小限の放映に留めた。また、放送番組導入の効果と比較するために関連性のある内容が掲載された通常使用の基礎医学系教科書並びに作成した印刷資料も配布し受講学生に参照させた。

表1. 医療系放送番組の動画教材導入の効果に関する調査事

【プロフィール調査】
(質問1) あなたは養護教諭二種免許を取得する予定ですか。
1. はい 2. いいえ
(質問2) あなたは将来どんな職業(職域)に就きたいですか。
1. 養護教諭 2. 医療福祉関連機関 3. 医療福祉以外の機関 4. その他(自由記述→ )
【今日前半の医療系動画教材を利用しない教科書、プリントによる授業について】
(質問2-1) 教科書の内容並びに説明の仕方は分かりやすかったですか。
1. 非常にそう思う 2. まあまあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない
(質問2-2) プリントの内容並びに説明の仕方は分かりやすかったですか。
1. 非常にそう思う 2. まあまあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない
(質問2-3) 全体として動画教材を利用しない授業はよく理解できましたか。
1. 非常にそう思う 2. まあまあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない
【後半の医療系動画教材を利用した上での教科書、プリント併用による授業について】
(質問3-1) 動画教材で最も印象深くあなたの共感を得た登場人物はどれですか(複数選択)。
1. 司会者の語り 2. ゲスト専門家の解説 3. 芸能人のコメント 4. 該当なし
(質問3-2) 教科書とプリントに加えて動画教材の導入は理解度を高めましたか。
1. 非常にそう思う 2. まあまあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない
(質問3-3) 著名人や芸能人を投入したバラエティー性豊かな番組を教材に使用したことで理解度を向上させることに繋がりましたか。
1. 非常にそう思う 2. まあまあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

(質問 3-4) 近年、医療系番組が多く放送されていますが、よく視聴していますか。

1. よく視聴している                      2. まあまあよく視聴している  
3. あまりよく視聴していない          4. ほとんど視聴していない

(質問 3-5) 近年の医療系番組の増加は、何が起因していると思いますか (複数選択)。

1. 若い世代の健康志向   2. 中年世代の健康志向   3. 高齢者の健康志向   4. 起因背景はない

(質問 3-6) あなたは、授業以外で普段健康に関する情報は主としてどこで得ていますか。

1. テレビ   2. インターネット   3. 図書又は雑誌   4. 新聞   5. その他 (自由記述→ )

(質問 3-7) 医療系番組を児童生徒が家庭で視聴することは学校での健康教育や保健指導上有益だと思えますか。

1. はい   2. いいえ (理由自由記述→ )

(質問 3-8) 児童生徒へ健康教育や保健指導を行う際、医療系番組を用いることは有益だと思いますか。

1. はい   2. いいえ (理由自由記述→ )

(質問 3-9) 児童生徒及び学生への健康教育や保健指導に動画教材 (特に放送番組) を導入することの効果や是非について自由に下に記述ください。例えば、芸能人を登場させるバラエティ番組に対して司会者と専門家だけで構成される健康指導系講座番組との比較など。

### III. 調査結果

書面調査の回収率は、調査対象 1 年生62人、2 年生59人、合計121人、回収121枚で100%であった。なお表中の回答割合 (%) については小数点第二位を四捨五入して小数点第一位までを表示している。

表2. プロフィール調査

	回答数 (%)	
質問 1 あなたは養護教諭二種免許を取得する予定ですか。		
被検者	1 年生 (n=62)	2 年生 (n=59)
1 はい	61 (98.4%)	55 (93.2%)
2 いいえ	0 (0.0%)	4 (6.8%)
無回答	1 (1.6%)	0 (0.0%)
質問 2 あなたは将来どんな職業 (職域) に就きたいですか。		
1 養護教諭	46 (74.2%)	34 (57.6%)
2 医療福祉関連機関	6 (9.7%)	13 (22.0%)
3 医療福祉以外の機関	1 (1.6%)	0 (0.0%)
4 その他	4 (6.5%)	7 (11.9%)
無回答	5 (8.1%)	5 (8.5%)

「あなたは養護教諭二種免許を取得する予定ですか」という問いに対し、1 年生では「はい」61人 (98.4%)、2 年生では55人 (93.2%) であり、どちらも養護教諭二種免許を取得する予定の人が最も多かった。

「あなたは将来どんな職業 (職域) に就きたいですか」という問いに対し、1 年生では「養護教諭」46人 (74.2%) が最も多く、次いで「医療福祉関連機関」6人 (9.7%) が多かった。

2年生では、「養護教諭」34人(57.6%)が最も多く、次いで「医療福祉関連機関」13人(22.0%)が多かった。

表3. 今日前半の医療系動画教材を利用しない教科書、プリントによる授業について

	回答数 (%)	
質問 2-1 教科書の内容並びに説明の仕方は分かりやすかったですか。		
被検者	1年生 (n=62)	2年生 (n=59)
1 非常にそう思う	2 (3.2%)	8 (13.6%)
2 まあまあそう思う	25 (40.3%)	34 (57.6%)
3 あまりそう思わない	23 (37.1%)	17 (28.8%)
4 全くそう思わない	11 (17.7%)	0 (0.0%)
無回答	1 (1.6%)	0 (0.0%)
質問 2-2 プリントの内容並びに説明の仕方は分かりやすかったですか。		
1 非常にそう思う	2 (3.2%)	8 (13.6%)
2 まあまあそう思う	24 (38.7%)	38 (64.4%)
3 あまりそう思わない	28 (45.2%)	13 (22.0%)
4 全くそう思わない	7 (11.3%)	0 (0.0%)
無回答	1 (1.6%)	0 (0.0%)
質問 2-3 全体として動画教材を利用しない授業はよく理解できましたか。		
1 非常にそう思う	6 (9.7%)	5 (8.5%)
2 まあまあそう思う	23 (37.1%)	29 (49.2%)
3 あまりそう思わない	25 (40.3%)	21 (35.6%)
4 全くそう思わない	7 (11.3%)	4 (6.8%)
無回答	1 (1.6%)	0 (0.0%)

「教科書の内容並びに説明の仕方は分かりやすかったですか」という問いに対し、1年生では「非常にそう思う」、「まあまあそう思う」を合わせると、27人(43.5%)であった。「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」を合わせると34人(54.8%)と過半数を超えた。2年生では「非常にそう思う」、「まあまあそう思う」を合わせると42人(71.2%)であった。「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」を合わせると17人(28.8%)と分かりやすかったと答える人が多かった。

「プリントの内容並びに説明の仕方は分かりやすかったですか」という問いに対し、1年生では「非常にそう思う」、「まあまあそう思う」を合わせると26人(41.9%)であった。「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」を合わせると35人(56.5%)と過半数を超えた。2年生では「非常にそう思う」、「まあまあそう思う」を合わせると46人(78.0%)と7割を超えた。「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」を合わせると13人(22.0%)であった。

「全体として動画教材を利用しない授業はよく理解できましたか」という問いに対し、1年生では「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」を合わせると32人(51.6%)と過半数を超えた。2年生では「非常にそう思う」、「まあまあそう思う」を合わせると34人(57.7%)と過半数を超える割合であった。

表4. 後半の医療系動画教材を利用した上での教科書、プリント併用による授業について

回答数 (%)		
質問 3-1 動画教材で最も印象深くあなたの共感を得た登場人物はどれですか (複数回答)。		
被検者	1 年生 (n=64)	2 年生 (n=67)
1 司会者の語り	3 (4.7%)	10 (14.9%)
2 ゲスト専門家の解説	35 (54.7%)	42 (62.7%)
3 芸能人のコメント	9 (14.1%)	11 (16.4%)
4 該当なし	15 (23.4%)	1 (1.5%)
無回答	2 (3.1%)	3 (4.5%)
質問 3-2 教科書とプリントに加えて動画教材の導入は理解度を高めましたか。		
被検者	1 年生 (n=62)	2 年生 (n=59)
1 非常にそう思う	12 (19.4%)	33 (55.9%)
2 まあまあそう思う	33 (53.2%)	19 (32.2%)
3 あまりそう思わない	14 (22.6%)	4 (6.8%)
4 全くそう思わない	2 (3.2%)	0 (0.0%)
無回答	1 (1.6%)	3 (5.1%)
質問 3-3 著名人や芸能人を投入したバラエティー性豊かな番組を教材に使用したことで理解度を向上させることに繋がりましたか。		
1 非常にそう思う	18 (29.0%)	37 (62.7%)
2 まあまあそう思う	34 (54.8%)	17 (28.8%)
3 あまりそう思わない	5 (8.1%)	3 (5.1%)
4 全くそう思わない	4 (6.5%)	0 (0.0%)
無回答	1 (1.6%)	2 (3.4%)

「動画教材で最も印象深くあなたの共感を得た登場人物はどれですか」という問いに対し、1年生、2年生とも「ゲスト専門家の解説」が最も多く1年生35人(54.7%)、2年生42人(62.7%)であった。

「教科書とプリントに加えて動画教材の導入は理解度を高めましたか」という問いに対し、「非常にそう思う」、「まあまあそう思う」を合わせると、1年生45人(72.6%)、2年生52人(88.1%)と高い割合であった。

「著名人や芸能人を投入したバラエティー性豊かな番組を教材に使用したことで理解度を向上させることに繋がりましたか」という問いに対し、「非常にそう思う」、「まあまあそう思う」を合わせると1年生52人(83.8%)、2年生54人(91.5%)とかなり高い割合となった。

表5. 健康志向について

			回答数 (%)	
質問 3-4 近年、医療系番組が多く放送されていますが、よく視聴していますか。				
被検者		1 年生 (n=62)	2 年生 (n=59)	
1 よく視聴している		5 (8.1%)	3 (5.1%)	
2 まあまあよく視聴している		20 (32.3%)	27 (45.8%)	
3 あまりよく視聴していない		21 (33.9%)	23 (39.0%)	
4 ほとんど視聴していない		14 (22.6%)	3 (5.1%)	
無回答		2 (3.2%)	3 (5.1%)	
質問 3-5 近年の医療系番組の増加は、何が起因していると思いますか (複数回答)。				
被検者		1 年生 (n=93)	2 年生 (n=89)	
1 若い世代の健康志向		21 (22.6%)	28 (31.5%)	
2 中年世代の健康志向		32 (34.4%)	35 (39.3%)	
3 高齢者の健康志向		37 (39.8%)	24 (27.0%)	
4 起因背景はない		1 (1.1%)	0 (0.0%)	
無回答		2 (2.2%)	2 (2.2%)	
質問 3-6 あなたは、授業以外で普段健康に関する情報は主としてどこで得ていますか (複数回答)。				
被検者		1 年生 (n=78)	2 年生 (n=79)	
1 テレビ		38 (48.7%)	36 (45.6%)	
2 インターネット		31 (39.7%)	34 (43.0%)	
3 図書又は雑誌		3 (3.8%)	2 (2.5%)	
4 新聞		4 (5.1%)	3 (3.8%)	
5 その他		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
無回答		2 (2.6%)	4 (5.1%)	

「近年、医療系番組が多く放送されていますが、よく視聴していますか」という問いに対し、「よく視聴している」、「まあまあよく視聴している」を合わせると1年生では25人 (40.4%)であったが、「あまりよく視聴していない」、「ほとんど視聴していない」を合わせると35人 (56.5%)と視聴していないという回答が上回った。2年生では「よく視聴している」、「まあまあよく視聴している」を合わせると、30人 (50.9%)と過半数を超えた。「あまりよく視聴していない」、「ほとんど視聴していない」を合わせると26人 (44.1%)であった。

「近年の医療系番組の増加傾向は、何が起因していると思いますか」という問いに対し、1年生では「高齢者の健康志向」37人 (39.8%)が最も多く、次いで「中年世代の健康志向」32人 (34.4%)が多かった。2年生では「中年世代の健康志向」35人 (39.3%)が最も多く、次いで「若い世代の健康志向」28人 (31.5%)が多かった。

「あなたは、授業以外で普段健康に関する情報は主としてどこで得ていますか」という問いに対し、「テレビ」1年生38人 (48.7%)、2年生36人 (45.6%)が最も多く、次いで「インターネット」1年生31人 (39.7%)、2年生34人 (43.0%)が多かった。

表6. 医療系番組の視聴について

質問 3-7 医療系番組を児童生徒が家庭で視聴することは学校での健康教育や保健指導上有益だと思いますか。	回答数 (%)	
	1 年生 (n=62)	2 年生 (n=59)
被検者		
1 はい	56 (90.3%)	57 (96.6%)
2 いいえ	4 (6.5%)	1 (1.7%)
無回答	2 (3.2%)	1 (1.7%)
質問 3-8 児童生徒へ健康教育や保健指導を行う際医療系番組を用いることは有益だと思いますか。	回答数 (%)	
1 はい	51 (82.3%)	52 (88.1%)
2 いいえ	6 (9.7%)	3 (5.1%)
無回答	5 (8.1%)	4 (6.8%)

「医療系番組を児童生徒が家庭で視聴することは学校での健康教育や保健指導上有益だと思いますか」という問いに対し、「はい」1年生56人(90.3%)、2年生57人(96.6%)と最も多かった。

「はい」の理由自由記述

1 年生

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| ・この授業の内容を親に伝えると良いと思った。 | ・知識を得られる。               |
| ・健康意識の向上につながると思う。      | ・様々な人の意見が得られる。          |
| ・分かりやすい。               | ・テレビだと見ようと思う子どもが増えると思う。 |
| ・理解が深まる。               |                         |

2 年生

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| ・分かりやすく楽しいテレビを放送すると子どもも見ると思う。  | ・家で見ることにより学校で教わるよりリラックスして視聴できるので頭に入りやすいと思う。 |
| ・先生の話が入ってきやすくなる。               | ・身になるため。                                    |
| ・家族と一緒に見て話をしながら考えることが気軽にできるから。 | ・動画を通して分かりやすく理解した方が覚えるから。                   |
| ・自分で理解してからだと授業も楽しくなると思う。       | ・普通に勉強するより頭に入ってくると思うから。                     |

「いいえ」の理由自由記述

1 年生

- |                    |
|--------------------|
| ・学校できちんと習う方が良いと思う。 |
|--------------------|

2 年生

- |                       |
|-----------------------|
| ・本当のことを伝えているか分からないから。 |
|-----------------------|

「児童生徒へ健康教育や保健指導を行う際、医療系番組を用いることは有益だと思いますか」という問いに対し、「はい」1年生51人(82.3%)、2年生52人(88.1%)と最も多かった。

## 「はい」の理由自由記述

## 1年生

- |                |            |
|----------------|------------|
| ・少しでも知識につながる。  | ・印象が残ると思う。 |
| ・健康意識の向上につながる。 | ・理解が深まる。   |

## 2年生

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| ・興味を持てると思うから。         | ・授業とリンクすれば分かりやすいと思う。 |
| ・普通に勉強するより頭に入ってくると思う。 | ・分かりやすい。             |

## 「いいえ」の理由自由記述

## 1年生

- |                                    |
|------------------------------------|
| ・専門用語が分かりにくいと思うから。                 |
| ・家庭でのテレビ鑑賞と同じような雰囲気では効率の良い勉強はできない。 |
| ・授業には放送番組を使うべきでない。                 |

## 2年生

- |  |
|--|
| ・子どもは何でも信じるのでもしもテレビで間違えたことを言っても信じてしまう。               |
| ・バラエティー番組だと笑いをとる部分があり、それは専門家の説明よりも子どもの印象に強く残ると感じるから。 |
| ・中学生に対しては有益だと感じるが、小学生は理解できないと思う。                     |

(質問3-9) 児童生徒及び学生への健康教育や保健指導に動画教材(特に放送番組)を導入することの効果や是非について自由に下に記述ください。例えば、芸能人を登場させるバラエティー番組に対して司会者と専門家だけで構成される健康指導系講座番組との比較など。

## ・肯定的な意見

## 1年生

- |   |                 |
|---|-----------------|
| ・親子で健康に関する興味が上がる。   | ・楽しみながら見る事が出来る。 |
| ・画像が出るから分かりやすい。   | ・分かりやすく見る気になる。  |
| ・様々なコメントを聞いていると納得することも多く、テレビだとその場で専門家が答えるので分かりやすく、授業にもっと取り入れてほしいと思った。 |                 |
| ・文字ばかりの教材よりも動画を見ている方が頭に情報が入りやすかった。                                    |                 |

## 2年生

- ・見て学習することにより勉強した分の復習を行うことができるので良いと思った。
- ・分かりやすいイラストやゲストの言葉が面白かったりすると記憶に残りやすい。
- ・冗談を交えながら真実が分かるので良いと思う。
- ・説明よりも頭に入りやすい。
- ・動画教材は眠くならないので良いと思う。
- ・授業である程度知識を身につけた上で見ると良いと思う。
- ・教科書よりも言葉を分かりやすくしてくれているので理解できる。
- ・言葉や文章だけではイメージをもてないが、動画にすることで理解しやすくなる。
- ・動画の方が記憶に残りやすい。

## ・否定的な意見

### 1年生

- ・教員が授業するべきであり、テレビから勉強する習慣のない子どもには無理だと思う。
- ・動画が多すぎると流れについていけない時に困り、通常授業の方が納得、理解しながら学習できる。

### 2年生

- ・余計に騒ぎ笑いをとることが重要な番組は逆効果かもしれない。

## ・内容の構成についての意見

### 1年生

- ・知っている芸能人が出ている番組の方が興味を持ち、記憶に残ると思う。
- ・専門家だけだと専門用語が多過ぎて分からない。
- ・司会者、専門家だけだと固く、難しいイメージなのでバラエティーの方が観ていて自然と覚える。
- ・司会者や専門家の話すスピードが遅い方が理解する上で良いと思う。
- ・バラエティー番組の方が頭に入りやすい。

### 2年生

- ・専門家だけの番組だと専門用語が多く理解しづらいと思う。
- ・知っている芸能人が出ることで興味を抱きやすい。
- ・人気の芸能人が出ていると興味を持って見てくれるのだろうかと思ったが、小学生だと芸能人の方に気がいってしまうのではないかと考えた。
- ・専門家の説明は分かりやすく細かいので良いと思う。
- ・芸能人を登場させているバラエティー番組の方が医療について私たちと同じように何も知らないの  
で芸能人が質問してくれることで分かりやすくなる。専門家だけの話では基本的なことを話してくれ  
ない。医療については基本的なことから教えてほしいのでバラエティー番組の方が良いと思う。
- ・バラエティー番組と健康指導系講座番組（司会者と専門家のみで構成される）ではバラエティー番  
組の方が面白いので見ると思う。
- ・バラエティー性の強いものと好奇心で見続けられるため集中力持続につながると思う。
- ・多くの人が思うようなことを芸能人がコメントとして発言するため答えが知れて良い。

- ・固い雰囲気健康指導系番組とは違い、バラエティー番組だと楽しんで理解を深められる。
- ・専門家だけで構成されるよりも知っている人が出ている方がなじみやすく気軽に楽しく。
- ・バラエティーで学ぶことで分かりやすく、知識を得ることができる。
- ・芸能人が出ていることで興味を持ち、見たい気持ちになる見ることができるし、解説も分かりやすいと思う。

#### IV. 考察

2～3年制短期大学の学科での学生の学びは、4～6年制学部 비해非常に短い期間で職業能力開発のためにコンパクトで凝縮された内容であり、近年ではそれに加えてキャリア教育によるトレーニングも求められ、溢れんばかりのボリュームになってきている。その中でも法令拘束のある免許・資格の取得を目指す教育機関では、卒業要件と共に義務的な授業科目の単位取得も考慮されていなければならない。大学教育の養護教諭養成課程は、医療従事者を目指す訳ではないが、教育と保健を融合させたいいわゆる教育保健学領域であり、2つの領域、すなわち学校教育の現場と医療を繋ぐ高い専門性が求められる。養護教諭養成課程(二種免許取得)で、修得に必要なとされる教育職員免許法施行規則掲載の科目名は、「衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。）」、「解剖学及び生理学」、「微生物学、免疫学、薬理概論」及び「看護学(臨床実習及び救急処置を含む。）」となっており、これだけでもかなりの高い専門性を求められる教育保健学系の科目体系である。

特に、教育保健学系の専門知識と技能については、大学の教室内での座学受講から実践力に繋ぐための工夫が極めて重要である。座学から実習に連続的にパイプを繋げていかなければそれぞれの学習は分断され、非効率的な学習になってしまう。

そこで、この研究では複雑多岐にわたるためまずくことの多い教育保健学系の学習について、教材の工夫によりどのような効果をもたらすのか実際の受講学生に問いかけ成果について評価することにした。

##### 1. プロフィール調査について

調査した学生は養護教諭養成課程に所属するため、両学年共殆どが養護教諭二種免許取得を希望しており、その学習過程の専門課程は教育保健学領域(教職に関する科目、養護に関する科目)となっている。4年制大学との違いは、1年次から専門教育が導入されている点特徴である。また、将来の就職も養護教諭又は医療保険福祉関連機関を希望しており、いずれも健康アドバイザーとして重要な役割を担うことになる。このことから医療保健系の専門知識と技能の修得が不可欠と考えられる。

##### 2. 医療系動画教材を利用しない教科書、プリントによる授業について

1年生は肯定的評価が5割を下回っているが、2年生は7割近くが肯定的な評価をしていた。否定的評価が高いのではないかと推測していたが、これは2年生では教育保健学の学び

の層が厚くなっていることが影響したものと考えられる。大津によると「授業を工夫すれば生徒の学習意欲を引き出すことができる」<sup>4)</sup>と述べられており、このことから教科書選定やプリントの内容の工夫や説明の仕方次第である程度高い評価が得られるものと考えられる。

### 3. 医療系動画教材を利用した上での教科書、プリント併用による授業について

最も印象深く共感を得た登場人物では、芸能人のコメントが印象に残りやすいのではないかと推測していたが、両学年とも動画教材でゲスト専門家の登場に高い評価をしていた。2年生に至っては6割を超えていた。ゲスト専門家は医学や健康に関する事項について専門的な知識を持った上で説明を行うため強い印象を受けたのではないかと考えられる。

書面教材と動画教材組み合わせ導入効果については、両学年ともかなり高い肯定的評価をしていた。特に、2年生に至っては8割を超えていた。動画教材は自主的、自発的な学習のための動機づけとなり、また学習意欲を喚起する有効な学習材料(教材)となり得る<sup>5)</sup>と小林は述べている。これらの導入は、あまり馴染みのない医療保健系の学習を行う際のきっかけとなり、アクティブラーニング(積極的自主又はグループ学習)へとつながるのではないかと考えられる。また阿部によると医学教育における授業では、ビデオ教材は数分の動画像でも大きな教育効果を発揮できる<sup>6)</sup>と述べられている。このことから動画は印象に残りやすく、つまづくことの多い教育保健学系の学習においても動画教材の導入部分での利用により、学習意欲を高め、ある程度学習効果が得られるのではないかと考えられる。

著名人や芸能人を投入したバラエティー性豊かな番組に両学年とも好感をもっていることが分かった。特に2年生では9割を超えるという著明に高い評価をしていた。動画教材導入の効果や是非に対する自由記述の回答では1年生よりも2年生の方がバラエティー番組を動画教材として利用することに對して肯定的な意見が多かったことから高い評価に繋がったことが考えられる。

### 4. 健康志向について

医療系番組の視聴頻度について2年生は5割台、1年生は4割台の学生がそれなりに見ていることが分かった。

医療系番組の増加について、各世代の健康志向については、すべての世代で関心が高まっていると考えているという結果であった。

全体として、健康に関する情報入手はテレビとインターネットが大部分であり、その割合はほぼ2分状態であった。総務省によると年々インターネット利用者数は増加傾向である<sup>7)</sup>と報告されているが、今の時代でも医療系番組を放送するテレビは重要な情報伝達手段として活用されていると考えられる。また、図書又は雑誌、新聞からの情報を入手している回答が少なかったのは学生であるための経済的な理由が背景にあるのではないかと考えられる。

## 5. 医療系番組の視聴について

医療系番組を児童生徒が家庭で視聴することは健康教育や保健指導を受ける上で有効と大部分が考えていた。また、健康教育や保健指導を実施する立場としても大多数が有益であると考えていた。日本教育情報学会著作権問題共同研究プロジェクトの第一次研究では「テレビ番組の放映内容を教育利用した場合には学習効果が認められる」<sup>8)</sup>と指摘されている。また、横山らによると授業でテレビ番組を活用していくためには、必要に応じて編集したり、一部を視聴したり、必要な箇所を印刷して児童生徒に配布したりしていく<sup>8)</sup>ことが必要であると指摘している。このことから、動画教材を学習内容に合わせて工夫し教育利用するだけでなく、書面によるプリントや資料を配布し学生に参照させることにより一層の学習効果が得られるのではないかと考えられる。

2015年9月12日～19日の1週間テレビ番組表を用いて医療系の番組の数を数えた所40番組ほどに達していた。これは、解説中心の硬い番組から、芸人を多用したバラエティー性のあるものまで含めてはいるがこれは国民の健康志向の高まりを反映しているものと言わざるを得ない。少子高齢化を迎え、医療水準も高くなっている今、このような状況は歓迎すべき事態である。ただし、テレビの番組は有名司会者や芸能人の話術による分かりやすい話もあるが、ゲスト専門家からは専門用語が飛び出し、細かく分かりやすい内容であっても洪水のように流れていく情報に追いついていけない懸念もある。小野寺によると動画の見せっぱなしは効果的ではないことから、視聴させる際、教師の側からの積極的な（言語を介しての）働きかけ（教授）が必要だ<sup>9)</sup>と述べている。また、秋山によると動画教材の分断利用は効果的な利用法である<sup>10)</sup>と述べられており、動画教材を利用する際は授業の内容に合わせた教員による工夫が必要であると考えられる。医療系のテレビ番組で、沢山の医療情報があってもそれを正しく理解し、生活や学習に活用できなければただ面白い番組を見ただけということになりかねない。

最後に健康は大人になってから関心をもつというのではなく、予防医学の観点から、学校の子供達など若い世代から正しい理解ができるよう少しずつトレーニングを積み重ねていくことが結果的に生活習慣病などを防ぎ、自分自身の健康に繋がる。多数放送される医療系テレビ番組は高度で難しい医療の内容を噛み砕いてリアルな形で情報提供がなされるようになってきたのは歓迎すべきことである。要は、健康教育にそれを生かしていくためには、教える側が積極的にそのようなメディア情報に関心を寄せ、学ぼうとする立場の人へ真の意味を伝えられるようにしていくことが重要であると考えられる。

## V. 総括及び結論

この研究の書面調査は、一つの2年制女子短期大学（養護教諭養成課程）を対象としたことから、全国の学校における現状を明らかに出来たわけではないが、社会で健康教育者や健

康アドバイザーを目指すことを想定している短期大学の教育保健学系の学科における学習に対し、どのように取り組んでいけばよいかを考える一端を知ることができた。今回の調査で、以下のことが分かった。

### 1. プロフィールについて

殆どの学生が養護教諭二種免許取得を希望しており、将来の就職も養護教諭又は医療保健福祉関連機関を希望している。いずれも健康アドバイザーとして重要な役割を担うことになることから医療保健系の専門知識と技能の修得が不可欠と考えられる。

### 2. 医療系動画教材について

医療系動画教材を利用しない授業については、否定的評価が高くなるのではないかと推測していたが、2年生では肯定的評価が高くなった。これは教育保健学の学びの層が厚くなっていることが影響したものと考えられる。このことから教科書選定やプリントの内容の工夫や説明の仕方次第である程度高い評価が得られるものと考えられる。

医療系動画教材を利用する授業については、両学年とも動画教材でゲスト専門家の動画教材での登場に高い評価をしていた。ゲスト専門家は医学や健康に関する事項について専門的な知識を持った上で説明を行うため強い印象を受けたのではないかと考えられる。

書面教材と動画教材組み合わせ導入効果については両学年ともかなり高い肯定的評価をしていた。動画教材は動機づけとなり得ることからあまり馴染みのない医療保健系の学習を行う際のきっかけとなり、アクティブラーニング（積極的自主又はグループ学習）へと繋がるのではないかと考えられる。このことから動画教材を学習内容に合わせて工夫し教育利用することが必要だと考えられる。

### 3. 健康志向・医療系番組の視聴について

医療系番組の視聴頻度について2年生は5割台、1年生は4割台の学生がそれなりに見ていることが分かった。

医療系番組の増加について、各世代の健康志向については、すべての世代で関心が高まっていると考えているという結果であった。

1年生では8割以上、2年生では9割以上が著名人や芸能人を投入したバラエティー性豊かな番組に両学年とも好感をもっていることが分かった。また健康に関する情報はテレビからの入手が最も多かった。医療系番組を放送するテレビは重要な情報伝達手段として活用されていることが分かった。

医療系番組を児童生徒が家庭で視聴することは、健康教育や保健指導を受ける上で、また、健康教育や保健指導を実施する立場としても大多数が有益であると考えていた。動画教材を学習内容に合わせて工夫し教育利用するだけでなく、書面によるプリントや資料を配布し学生に参照させることにより一層の学習効果が得られるのではないかと考えられる。

1週間テレビ番組表を用いて医療系の番組の数を数えた所40番組ほどに達していた。こ

れは、解説中心の硬い番組から、芸能人を多用したバラエティー性のあるものまで含めてはいるがこれは国民の健康志向の高まりを反映しているものと言わざるを得ない。健康は大人になってから関心をもつというのではなく、学校の子供達など若い世代から正しい理解ができるよう少しずつトレーニングを積み重ねていくことが結果的に生活習慣病などを防ぎ、自分自身の健康に繋がる。健康教育や学習にこれらのことを生かすには、教える側が積極的にそのようなメディア情報に関心を寄せ、情報過剰による混乱防止に配慮しながら、学ぼうとする立場の人へ真の意味を伝えられるようにしていくことが重要であると考えられる。

## VI. 謝辞

本調査に快くご協力して頂いた九州地区に位置する2年制女子短期大学養護教諭養成課程に在籍する学生各位に深謝する。

## VII. 参考文献

- 1) 文部科学省、平成26年度 学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果【速報値】(平成27年3月現在)、(2015) 4～5
- 2) 文部科学省、「教育の情報化に関する手引」検討案 第3章 教科指導におけるICT活用、「教育の情報化に関する手引」作成検討会(第4回)配付資料、(2009)
- 3) 厚生労働省、平成26年版 厚生労働白書 健康長寿社会の実現に向けて 健康・予防元年、(2014) 43
- 4) 大津和義、保健授業への学習意欲を高めるには、学校保健研究 24(1)、(1982) 6～12
- 5) 小林洋一郎、放送教育における指導モデル 学習指導体制の研究、鳥取大学教育学部研究報告教育科学24、(1982) 295～303
- 6) 阿部和厚、大学教育における視聴覚授業 特に医学教育を中心として、高等教育ジャーナル 1、(1996) 190～208
- 7) 総務省、平成23年版 情報通信白書、(2011) 186
- 8) 横山隆光、有菌格、齋藤陽子、テレビ番組の教育利用と著作権問題について 教師・指導主事等の実態と意識調査から、日本教育情報学会第20回年会、(2004) 18～19
- 9) 小野寺淑行、映像教材からの学習に及ぼす先行授業の効果、千葉大学教育学部研究紀要 I：教育科学編、46(1998) 201～210
- 10) 秋山隆志郎、テレビ教育における効果研究、日本教育工学雑誌、2(1977) 31～42

## **Effects of medical TV programs on the school-nursing course class**

Yoshiaki MATSUMOTO, Wakana INO

Advanced course of child care and education at Kyushu Women's Junior College  
1-1, Jiyugaoka, Yahatanishi-ku, Kitakyushu-shi 807-8586, Japan

### **ABSTRACT**

As for the learning of the medical region, the induction of the teaching materials with the animation is effective. Therefore, in the class of a first grader and the second grader of the school-nursing course of the junior college, we decided to examine the induction effect of the document teaching materials and the animation teaching materials.

As a result, we did a considerably high affirmative evaluation about the document teaching materials and the animation teaching materials combination induction effect with both school years and thought that the majority were beneficial as the situation that performed health education and health guidance.

More learning effect is thought to have possibilities to be obtained by making we devise the animation teaching materials to learning content a learning effect is obtained by educating you, and using it and distribute a written print and document, and a student refer.

Based upon the foregoing, a side to show has interest for media information positively to make use of the animation teaching materials in health education and learning, and it is thought to be important that a true meaning is conveyed to the person of the situation that we are going to learn.

Keywords : medical TV programs, school-nursing course class, education